

## 会議開催結果

1	会議の名称	令和6年度 第2回砥部町子ども・子育て支援会議
2	開催日時	令和6年12月26日(木) 午後3時～午後4時42分
3	開催場所	砥部町中央公民館 2階 会議室1
4	審議等事項	(1) 第3期砥部町子ども・子育て支援事業計画(素案)について (2) その他
5	出席者	<p><b>【出席委員】</b> 9人            本多 肇、二神 和徳、竹原 麻琴、秋本 康富、村上 明子、安原 優子、則友 美紀、近藤 富美、天野 沙耶花、福見 早苗</p> <p><b>【欠席委員】</b> 3人            大野 孝一、白形 理恵、堀江 直美</p> <p><b>【事務局】</b> 7名            岩田 恵子(保険健康課長)            伊達 定真(学校教育課長)            堀 潤一郎(子育て支援課長)            中山 晃志(子育て支援課長補佐)            東 勝之(子育て支援課 保育幼稚園係長)            住田 江里子(子育て支援課 子育て支援センター係長)            佐川 達哉(子育て支援課 子ども福祉係長)</p> <p>(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 1名</p>
6	公開又は非公開の別	公開
7	非公開の理由	—
8	傍聴人数	なし
9	所管課	子育て支援課 子ども福祉係 電話 089-962-6299

発言者	発言内容
会長	<p>1 開 会</p> <p>2 会長・副会長選出</p> <p>3 会長あいさつ</p> <p>4 議 事</p> <p><u>【議題（1）第3期砥部町子ども・子育て支援事業計画（素案）について】</u></p> <p>議題（1）第3期砥部町子ども・子育て支援事業計画（素案）について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議題（1）第3期砥部町子ども・子育て支援事業計画（素案）について、資料に基づき説明</p>
会長	<p>事務局からの説明が終わりましたが、質問はありませんか。</p>
委員	<p>77 ページの見込み量のところで、「④地域子育て支援拠点事業」の対象年齢が0-5歳になっています。この地域子育て支援拠点事業が、ぽっかぽかのことだけを言うのであれば、0歳から3歳対象の事業なので、0-5歳での見込みとなると、対象年齢が違うと感じました。</p> <p>あと、年齢のところであれば「⑦病児・病後児保育事業」も0-5歳になっていますが、この間アイグランの見学に行ったときに小学生も対象だと聞いています。ここも5歳ではなく、その対象の年齢になるのかなと思いました。</p>
事務局	<p>「⑦病児・病後児保育事業」について、仰るとおりアイグランでやっているものは小学生対象になっていましたので、人数等修正します。松山市においては、施設によって、使える年齢が違う可能性があることも含めて修正を検討します。</p> <p>77 ページの「④地域子育て支援拠点事業」については、仰るとおり、つどいの広場のみのことです。年齢が、今は3歳までしか受け入れていないということでしょうか。</p>
委員	<p>つどいの広場に関しては、「0歳からおおむね3歳までが対象」としており、幼稚園・保育所に行くまでの子どもとしています。その兄弟の子がついてくるのを砥部はOKにしてもらっていますが、それはまた別の登録の仕方をしています。これが5歳までかということ、兄弟になるので小学生もいたりします。つどいの広場の事業だけを対象にするのであれば、0歳から3歳、おおむね3歳というところでしょうか。</p>

事務局	修正させていただきます。
委員	83 ページの「⑬妊婦等包括相談支援事業」について、生まれてくる子どもの推計人数に対して妊婦の人数が多いと思うのですが、これは配偶者も入って 300 人ということでしょうか。
事務局	妊婦等包括相談支援事業は、1 人の妊婦に対し最低 2 回は相談を行うように設定されています。加えて、2 回で終わらない方もいらっしゃるので、プラスアルファを想定し、年間の見込み量としております。人数としては、想定では 120 から 140 人です。
委員	丁寧に事業計画を説明していただきましたが、ヒアリングで出た課題に対する回答と結びつきにくいです。たとえば偏食の子や落ち着きのない子、グレーゾーンの子が多い等について、どのように考えていらっしゃるかを教えてください。団体・施設のヒアリング調査結果が 18～21 ページに書かれてありますが、この部分に対して回答をいただきたいです。
委員	大前提として、子ども・子育て支援事業計画というのは、第 5 章にある量の見込みと確保方策が主になります。それに付随して、障がい者団体の方にもお話をお伺いして、こんな課題があると聞かせてもらっていますが、計画の中でそれを入れる部分は、障がい者の計画であったり、今後できる予定の「こども計画」というもう少し大きい計画であったりになるかと思います。このヒアリングで聞いたことに対する具体的な回答が、今回の計画の中で明確に出るものではありません。
委員	それは分かるのですが、何かしら考えを聞かせていただけないでしょうか。計画の中に盛り込まなくてもいいのですが、私たちも時間を割いて意見を出しています。それに対するコメントをいただけるとありがたいです。
事務局	<p>ヒアリングに対して回答をと言われると、それぞれの内容について担当課と話してでよければ可能だと思います。</p> <p>ヒアリングでいただいた意見は、当然、簡単に解決できる問題ではありません。ここで文章化して表に出すことによって、こういった問題が課題として挙がっていることを町全体で認識させていただきます。意見を無下にせず、町内で連携をさせていただきながら、また今後、そういった内容について色々ご意見をいただくこともあるかと思います。</p> <p>それらを踏まえて、前向きにどう解決していけばいいのかを、また一緒に考えさせていただけたらと思っております。</p> <p>今すぐこうしますと言いたいところですが、場合によって人員不足や予算的な制限があると思います。解決できればいいのですが、人力的なものであったり財政的なものであったりで、どこかで妥協しないといけないものもありましようし、工夫で解決できるものもあろうかと思いませんので、将来的なことで取り組んでいけたらと思っております。</p> <p>先ほど申し上げたように、子育ての場合は、この計画を実施していく</p>

	<p>中で、意見を踏まえて具現化していければいいと思いますし、子育てではない部分についても、それぞれの分野において解消が図られるように、連携しながら、情報交換しながら、今後の会議でまた話し合いの場を設ける場合もあろうかと思います。障がいの関係の部分は、色々なヒアリングの会があろうかと思いますので、そこで色々と検討し、問題解決をしたいと思っております。</p>
委員	<p>「ここで」という訳ではなかったので大丈夫です。ただ、グレーゾーンの子どもさんは障がいではないので、子育ての方で考えていただきたい。グレーゾーンの子どもを障がいと言うのは違うと思いますので、その点は考えてください。</p>
委員	<p>78 ページの「⑦病児・病後児保育事業」について、今回、支援課の方から、アイグランさんの利用方法を主にいただきましたが、4月から、どのくらい利用の報告がありますか。</p>
事務局	<p>まだ周知不足なところもあり、2施設とも10名程度です。</p>
委員	<p>これまで10名でそれは全部違う子どもですか。</p>
事務局	<p>同じ子どもさんもいます。延べ10名です。</p>
委員	<p>それ以外の方はどうされているのですか。</p>
事務局	<p>去年までは町内の病児保育がなく、今年から実施しているというのもあって、松山市の病児保育を利用している人の方が多いと思われます。</p>
委員	<p>同じ人の利用が多いのでしょうか。</p>
事務局	<p>そうですね。同じ人が繰り返し使われることの方が多いです。</p>
委員	<p>80 ページにある「こども誰でも通園制度」が新規に始まると書いてありますが、イメージが全然湧いていません。誰でも行けるとは、月に1回なのか、1週間の1時間ができるのか、1日のうちに時間制で2時間等になるのか。今のところはこの辺りも白紙なのでしょう。</p>
事務局	<p>試行的に始めている自治体もあります。愛媛県でいうと今治市が行っており、今治市の中で6件程度が実施しています。令和8年度からは必須ということで、全国的にどこの自治体も開始になります。0歳6か月から3歳になるまでの、3歳未満のお子さんを預かるということでスタートする事業になります。時間について、試行的に行っているのは、月に10時間を目安に各自治体で設定しながら、ご利用いただける事業になっています。ですので、継続して使えない方もおられますし、色々だと思います。ただ、それほど今治も実績を持っていないと聞いています。これから必須になるため、こちらでも受け入れ施設や時間数の確保をし</p>

	<p>ています。時間の管理については、各市町村や各施設に国が一括でシステムを提供すると聞いています。いつ、どこで、何時間この月に使ったかを管理するものです。保育所に入るには、保育に当たれない理由が必要になりますが、ある程度の時間的制限はありますがその理由を問わずして利用できます。お子さんが早いうちからいろんな施設に少しでも触れながら、また、相談等もセットと聞いておりますので、お母さんや保護者の方の育児不安等を解消できるような、環境づくりを目指しております。</p>
委員	<p>病児保育の利用者としての感想を述べてもいいでしょうか。松山市の施設は大体値段が一緒で、1日2,000円です。それでお昼ごはんとおやつもついてます。砥部町にできると聞いてすごく喜んでいましたが、正直、登録が面倒くさそうに思いました。また、松山市は朝の7時半から入れ、連れて行けばその医師が診察し、そのまま預かってくれ、薬も処方してくれて、夜の7時まで診てくれるんです。ただ、砥部町のは、事前に病院にかかって、お医者さんに「病児保育に行ってもいい」と診断書を出してもらい、前日の夕方5時までに明日の予約をしないといけなくて。子どもの熱が明日まであるのかどうか分からないと不安もあるし、どうしようかなと思って、嬉しいけどまだ利用できていない状態です。ぜひ、その辺りはもう少し柔軟に、その日の午前中に病院に行っても午後からでも預けられるなどの対応をしてもらえたらとても助かります。</p>
会長	<p>その病院は感染症でも預かってくれるのですか。</p>
委員	<p>完全個室になっているので大丈夫と言われてます。それで、医師が診察して預かれないような子は預かれないけれど、そこで薬を処方して、おやつもついて、また帰るときに医師が診察してくれて終わりです。砥部町は迎えが夕方5時までなので、5時に仕事が終わったら行けない。子どもを預けて仕事と考えたら、夜6時ぐらいまでせめて預かってもらいたいです。</p>
委員	<p>いろいろなところで出ている人材不足が、誰でも通園制度が始まるともっと深刻になるのではないのでしょうか。保育士や保育所のスタッフがいないと受け入れもできないだろうし、児童クラブにしても人がいないと書かれていたし、利用したい人がいないところは見えてきているけれど、受け入れる側の人材不足があるんじゃないかなと思いました。砥部町としては、働き方の見直し、雇い方の工夫をしないと、なかなか難しいと感じています。計画だけ立てても、結局は人がいないと対応できない。児童クラブや児童館の先生にしても、働き方が安定しないというか、時給制や保証がない部分で働いている。朝から行って夕方帰る働き方とは違うので、その辺りが安定しないと、なかなかそこで仕事をしようとならないのではないのでしょうか。そして、誰でも通園が始まると、時間単位の仕事になって、1日雇われて仕事をするにはならないと思うので、そこをどう確保するかとなると、なかなか難しい。児童館や児童クラブの先生の働き方にしても、もう少し安定した働き方ができて、そういうところで働く選択ができるように、そこまで考えていかなければ、いろ</p>

事務局	<p>いゝな事業を実施しようとしたり改善したりしても、なかなか実施に至らなかつたり、また違ふところで問題が出てくるのではないかと感じています。スクールソーシャルワーカーの先生にしてもそうですが、仕事としてできる形が取れるとよい。週に2日とかで、他の仕事をしながら勤めないといけないとなると負担が大きい。人材を確保するための何かについても、今後は必要になってくると思ひました。</p> <p>仰るとおりです。本当に人手が足りないので、保育士については、正職員で迎え入れて確保しようと、実は今年度も2名の募集をしました。しかし、採用には至らない状態です。引き続き来年度以降も、まずは正職員として、保育所については行いたいと思ひます。児童クラブ等についても、会計年度任用職員という形で、待遇はだいぶ変わってきております。児童館や児童クラブに勤めるのはある程度スキルを持っている方です。等級の段階を、たとえば普通の人々の最低賃金が950円としたら児童クラブは1,200円を基本にするとかで区別しております。今年についても賃金が結構上がるということで、そういう方たちに対しても処遇の改善をさせていただけてます。また、以前は出ていなかったボーナスに相当する手当も、そういった会計年度任用職員の方、児童クラブの方に支給しております。給与や、もちろん社会保険などもつけ、処遇面は少なくとも3年前に比べると大きく改善されていると思ひます。人員を確保できなければ、最後の手段としてどこかの事業所に人材の確保も含めて託すことも考へて、サービスを適切に確保できる体制を実現しないといけないと思ひております。</p>
委員	<p>学童の先生方は更新中になるんですか。</p>
事務局	<p>一応評価はさせていただきますけれども、ある程度の評価であり、継続雇用の希望があれば更新します。</p>
会長	<p>こども誰でも通園制度について、単位の人日の「日」は1日ですか、1日あたりですか。</p>
事務局	<p>年間の人数だと思ひます。国が示す計算方法に基づいて、10時間で計算しています。</p> <p>たとえば令和8年度の量の見込みですと、年間で136人×10時間で1360という数になっています。</p>
会長	<p>単位を「時間」にした方が分かりやすいのではないですか。</p>
事務局	<p>注釈の追加や単位を「時間」という表現にするなど、こちらで検討します。</p>
委員	<p>アンケートの結果について、前回が何年前なのかを分かるようにしてください。9ページに今回はいつしたかを書いてありますが、次のページから全部、前回と今回で比べています。前回がいつなのか分かりませ</p>

事務局	<p>んでした。</p> <p>追加記載します。</p>
委員	<p>18～21 ページで、「○」と「・」の違いはあるのですか。</p> <p>また、少し話が戻りますが、これは実施計画を立てるということで、利用者側のしてほしいことに対する回答が割と出ていますけれど、先ほど言われたように人材確保の計画が立てられないものか。延長保育等は人がいればできるかもしれないので、コンテンツの中に定期的に人材を確保する内容を入れてはどうでしょうか。たとえば、保育士が今延べ100人いるとして、来年度は必ず2人採用して102人にするとか、会計年度任用職員を正規に変えるとか、会計年度任用職員を増やすとか。予算が難しいのは分かりますが、何かそういう計画があってもいいと思うんです。学生や採用される立場からすると、採用があるかないか直前にならないと分からないのがすごく困る。たとえば国家公務員は、採用試験は必ずあるんです。他の行政に関して言うと、年によってあったりなかったり。それは仕方がないかもしれませんが。子育てに関する保育士は、毎年2人は採用予定を出すから来ててくださいねとすると、受ける側は「砥部なら受けてみようか、ちょっと待ってみようか」というのが出ると思います。</p>
事務局	<p>正職員については、職員の定数を定める条例があります。実際にどうかは総務課、人事で決めており、また別の計画があります。その計画に基づいて過不足ないように定めておりますから、こちらにおいて独立して計画を作るのは難しいと思います。会計年度についても、そういったことができればいいのですが、計画に入れ込んでも保証できるかどうかというのがあります。計画段階から供給量が減って、余剰が出てもいけませんし、少なくとも今のサービスを提供できるだけの人材を確保しようとは思いますが、人材をどれだけ確保するかは、また別のところで管理したいと思っております。</p>
会長	<p>よろしいでしょうか。今日、ご質問を受けて、ご意見を聞いて、この素案に基づいて、正式に年度末までに発表するわけですね。確定については、この支援会議はもう一度ありますか。</p>
事務局	<p>もう一度あります。2月か3月に開き、そこで最終稿を提示します。</p> <p><b>【議題（2）その他】</b></p>
会長	<p>議題（2）その他について、何かご意見・ご質問等ございませんか。</p>
委員	<p>子どものインフルエンザの予防接種をしていただけるようになり大変ありがたいのですが、砥部町内の病院に限るとなっています。松山市の小児科にかかっているため、広域に広げてもらうことはできないのでしょうか。</p>

委員	<p>保健健康課です。結論から言いますと、償還払いで、松山など砥部町以外で受けた場合にはお返しする形をとらせていただいております。</p>
委員	<p>はがきには町内の施設に限るとありました。</p>
委員	<p>本来の受け方でしたら町内になりますが、町外で受けた場合は、領収書をとって手続きしていただくと 1,000 円お返ししております。はがきにも小さい字ですが下の方に書いております。</p>
事務局	<p>人材確保などご心配をおかけしており、またいろいろとお考えいただいております。保育士や放課後児童クラブの指導員が本当に足りません。もしよろしければ、皆様の周りで、来年保育士資格を取る方や、子どもに関するお仕事してみたい、児童クラブで働いてみたいという方がいらっしゃいましたら、詳細な話は子育て支援課に行ってみたらと、よかったらお声がけいただくと助かります。頭の片隅に置いていただいて、保育士になりたい、来年卒業する方がいれば、「役場が必要とします」とぜひアナウンスをよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>保育所において、アプリでいろいろな連絡ができるようになりました。このアプリは小中学校まで続けられませんか。せっきく町立なので、小中と繋がれば、保護者の手間も少ないし、先生方の最初の負担が大きいのは分かりますし、アプリ自体が民間のもので突然サービス終了になると困りますが、うまく繋がれると同じような形で使っていけるので、分かりやすいと思います。小中学校までできれば同じシステムを検討していただきたいと思います。</p>
事務局	<p>今の保育所の分は、保育所専用です。保育所に特化しており、先生の働き方改革で、事業台帳や給食の管理をあのアプリでできるようになっています。</p> <p>学校は、年明け頃から、たちまちは無料アプリを使おうとしております。保育所からの同じシステムになると、予算等のこともありますので、また今後の検討課題になります。将来的には、そのまま使っていければいいとは思いますが、その辺も含めて検討していきます。</p> <p>その他意見無し</p> <p>議事終了</p> <p>会議終了</p> <p>【16:42 閉会】</p>